ふくちゃん

共に汗を流すことで地域の団 流のない人たちと触れ合 ション競技を通じて、

60点もの応募の中から選ばれた、 福住地区のシンボルマーク「ふくちゃ ん」。ひらがなの「ふ」を使い、福住 の住民の笑顔を表しています。町内会 の旗やTシャツになるなど、さまざま な場面で活躍中です。

人の輪をつなげる 福住連合まつり

7子どもみこしはお祭りのメイン! 大きな歓声に包まれます。

住最大の

とても大きなお祭りになって 年は2千人以上が参加する、 で32回目となる伝統的な行事 メインの、特徴あるお祭りで エーションと子どもみこしが れる福住連合まつり。 毎年参加者を増やし、 年8月の最終日曜日に行 運動会のようなレクリ

に長く続いて、 行事です。そのため、こんな するものをモチーフとする子 長は語ります。 のではないでしょうか」と福 も貴重な経験になっています。 業は、子どもたちにとってとて るものです。大勢での共同作 どもみこしは、 人たちが力を貸して作り上げ 「連合まつりは地域を団結 みんなで大事にしている 人の輪をつなげるため 伝統になった 子ども会に大

◆町内会の旗が一斉に並ぶと壮観です



大切にしていることです。

綱引きなどのレクリエー

の特徴は、

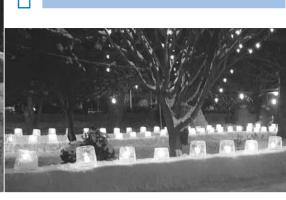
人と人との交流を

地域の交流の場として

住連合まつりのもう一つ

福を招く氷の灯火

その年を象徴



いう思いから始めたこの取り して地域を盛り上げたい、

初めは空き地などで小

イスキャンドルです。

柔らかな光がきれ

福住に冬のイベントを

福

住

の冬の風

物詩

ع いえ

トとなっています。

寒い冬に欠かせない大イベン 毎年、実行委員会が組織され、 規模に行いましたが、今では

福住地区は自然豊かなまち です。地下鉄福住駅や札幌 ドームができてから、福住を 訪れる人も住民も増え、さら に活気づいています。

これからも、「自然と人の 和と輪を生かす」ようなまち づくりを進めていきます。



▶キャンドルの明かりが雪道を行く人の 心を温めます。

界へといざないます。また、 行き交う人たちを幻想的な世 と30個のキャンドルが灯り、 社の周辺にイルミネーション めき、まちに彩りを添えます。 千数百個の からドーム前広場までの間に 1月後半にはウェルカムキャ づくりセンターと福住厳島神 にかけての3日間、 ドルとして、地下鉄福住駅 大みそかの夜から1月2日 キャンドル 福住まち が揺ら